

教科	国語	科目	現代文A	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新編現代文A			出版社名	第一学習社	
	副教材	常用漢字クリア (尚文出版)					

学習の目標	1 文章を読む楽しさを味わい、自らのものの見方・感じ方・考え方を深めます。 2 読書に親しみ、国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てます。 3 言語感覚を磨き、言語文化に対する理解を深めます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 新しい発見	○ 随想的な要素をもつ評論の読み方を習得します。	中間 考 査
	5月 小説を読む (一)	○ 小説を読む楽しさを実感し、読書への意欲を高めます。	
	6月 言語と文化	○ 日本の言語文化について理解を深めます。	
	7月 詩を味わう	○ 表現やリズムに気を付けながら情景や心情を考えます。	
2 学期	8月 小説を読む (二)	○ 人物の心情を想像し、人間関係における人の心の在り方について考えます。	中間 考 査
	9月 人間と文化	○ 日本の文化と外国の文化の違いについて理解を深めます。	
	10月 小説を読む (三)	○ 小説世界を自己のものの見方や考え方に引き付けて考えます。	
	11月 人生の風景	○ 随想の読解の仕方を習得し、文章の構成の特徴について理解します。	
	12月 言語活動	○ 自分でテーマを決め、インターネットを用いて情報を集め、発表します。	
3 学期	1月 社会と文化	○ 本文の構成に注意しながら、筆者の考察がどのように展開しているのかを把握します。	学 年 末 考 査
	2月 小説を読む (四)	○ 物語を場面ごとに分け、それぞれの場面における登場人物の心情の変化を読み取ります。	
	3月 言語活動	○ 研究発表の仕方を習得します。	

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	文章を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の予習と復習を必ず行いましょう。 2 指示を聞いて集中して授業に臨みましょう。 3 小テストや定期考査の準備を十分に行いましょう。
-----------	---

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(普通科 探究類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。 2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。 3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。  ○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。	中間考査
	5月	第3章 科学技術の発達と私たちの生命		
	6月	第4章 高度情報社会と私たちの生活		
	7月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配		
2 学期	8月	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。  ○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。  ○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。	中間考査
	9月			
	10月	第4章 国際政治の動向と日本の役割		
	11月	第5章 現代の経済社会と私たちの生活		
12月				
3 学期	1月	第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。  ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探究します。	学年末考査
	2月	第7章 民主社会に生きる倫理		
	3月	第3編 とともに生きる社会をめざして		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心をもちましょう。
-----------	--

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(普通科 教養類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。
	2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。
	3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。  ○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。	中間 考 査
	5月 第3章 科学技術の発達と私たちの生命 第4章 高度情報社会と私たちの生活		
	6月		
	7月 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配		
2 学期	8月 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。  ○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。  ○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。	中間 考 査
	9月		
	10月 第4章 国際政治の動向と日本の役割		
	11月 第5章 現代の経済社会と私たちの生活		
12月		期 末 考 査	
3 学期	1月 第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。  ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探究します。	学 年 末 考 査
	2月 第7章 民主社会に生きる倫理		
	3月 第3編 ともに生きる社会をめざして		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。
-----------	--

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。 2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。 3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。  ○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。	中間 考査
	5月 第3章 科学技術の発達と私たちの生命 第4章 高度情報社会と私たちの生活		
	6月		
	7月 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配		
2 学期	8月 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。  ○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。  ○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。	中間 考査
	9月		
	10月 第4章 国際政治の動向と日本の役割		
	11月 第5章 現代の経済社会と私たちの生活		
12月		期末 考査	
3 学期	1月 第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。  ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探究します。	学年 末 考査
	2月 第7章 民主社会に生きる倫理		
	3月 第3編 とともに生きる社会をめざして		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。			

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。 2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。 3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。  ○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。	中間 考査
	5月 第3章 科学技術の発達と私たちの生命 第4章 高度情報社会と私たちの生活		
	6月		
	7月 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配		
2 学期	8月 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。  ○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。  ○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。	中間 考査
	9月		
	10月 第4章 国際政治の動向と日本の役割		
	11月 第5章 現代の経済社会と私たちの生活		
12月		期末 考査	
3 学期	1月 第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。  ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探求します。	学年 末 考査
	2月 第7章 民主社会に生きる倫理		
	3月 第3編 ともに生きる社会をめざして		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。			

教科	数学	科目	数学 I	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校数学 I 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 三角比、集合と論証、データの分析についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画		
1 学期	4月	3章 三角比 1節 三角比	○相似な三角形、三平方の定理等の既習事項を確認します。 ○直角三角形の2辺の比として、三角比の定義を学習します。 ○三角比を利用して、いろいろな距離を求める方法を学習します。 ○サイン・コサイン・タンジェントの間の関係を学習します。	中間考查  期末考查		
	5月					
	6月					
	7月					
2 学期	8月	2節 三角比の応用	○三角比で抜う角を鈍角まで拡張するために、座標を用いた定義を学習します。 ○三角比を利用して、三角形の面積を求める方法を学習します。 ○正弦定理・余弦定理を用いて、三角形の辺や角及び外接円の半径、さらにいろいろな距離を求める方法を学習します。 ○いろいろなものの集まりについて、その表し方や用語を学習します。	中間考查  期末考查		
	9月					
	10月	4章 集合と論証				
	11月	1節 集合				
3 学期	12月	2節 命題と証明	○ことがらが正しいかどうかを判断する考え方や、命題が正しいことを証明する方法を学習します。	期末考查		
	1月	5章 データの分析 1節 データの分析			○目的に応じていろいろなデータを適切に整理する方法を学習します。 ○データの特徴を一つの値で代表することを考え、データの散らばりを数値で表すことを学習します。	学年末考查
	2月					
	3月					

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	図形と計量及びデータの分析の考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、図形と計量及びデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	図形と計量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	理科	科目	生物基礎	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校 生物基礎 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	サンダイアルNavi&トレーニング生物基礎(啓林館)、生物基礎実験ノート・問題集(高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性	○生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けます。 ○生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解します。	中間 考査	
	5月	2節 細胞とエネルギー			
	6月	2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	○生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解します。 ○遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解します。		期末 考査
	7月				
2 学期	8月	2節 遺伝情報の分配	○DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解します。	中間 考査	
	9月				
	10月	3節 遺伝情報とタンパク質の合成	○DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解します。 ○生物と遺伝子に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。 ○生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識します。		
	11月	3章 生物の体内環境とその維持 1節 体内環境			
12月		期末 考査			
3 学期	1月	2節 体内環境の維持のしくみ	○体内環境が保たれていることを理解します。 ○体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解します。	学年 末考査	
	2月				
	3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	生物や生物現象に関わり、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	理科の見方・考え方を働かせ、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	日常生活や社会との関連を図りながら、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行きましょう。 3 定期考査には全力で臨みましょう。
-----------	--

教科	保健体育	科目	体育	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。 2 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高めます。 3 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。 ○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。 ○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	期末考查
	5月	2 陸上競技		
	6月	3 球技Ⅰ		
	7月	4 体育理論		
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。 ○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	期末考查
	9月			
	10月	6 陸上競技		
	11月	7 球技Ⅱ		
	12月	8 体育理論		
3 学期	1月	9 体づくり運動	○ 集団行動を通して、計画的な実践、協力、責任などに対する意欲を高めます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	学年末考查
	2月	10 球技Ⅱ		
	3月	11 体育理論		

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
評価の観点	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の強力的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするために各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点で総合的に評価します。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することによって行います。			
学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図りたくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。			



教科	保健体育	科目	保健	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	1
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	2 単元 生涯を通じる健康	○ 思春期の変化について理解します。 ○ 異性との人間関係について理解します。 ○ 結婚に際して健康面から考慮すべきことを学びます。  ○ 妊娠・出産期の健康について理解します。 ○ 家族計画の意義について学びます。 ○ 加齢に伴う心身の変化について理解します。  ○ 高齢者の健康課題を理解します。 ○ 保健行政の役割について理解します。	期末考查
	5月	1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康		
	6月	4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康		
	7月	7 高齢者のための社会的取り組み 8 保健制度とその活用		
	8月	9 医療制度とその活用		
2 学期	9月	10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策	○ 保健機関と医療サービスを活用するときの留意点について学びます。 ○ 医薬品の使用方法について理解します。 ○ 我が国の健康づくりの取組について理解します。  ○ 大気汚染の健康被害について理解します。  ○ 環境汚染の影響について理解します。  ○ 環境汚染の改善方法について理解します。 ○ ごみ処理の現状・課題、上下水道の整備について理解します。	期末考查
	10月	3 単元 社会生活と健康		
	11月	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康		
	12月	3 健康被害の防止と環境対策 4 環境衛生活動のしくみと働き		
	1月	5 食品衛生活動の仕組みと働き 6 食品と環境の保健と私たち		
3 学期	2月	7 働くことと健康	○ 働くことと健康の関わりについて理解します。  ○ 労働災害の原因について理解します。 ○ 職場で行う健康増進対策について理解します。	学年末考查
	3月	8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活		

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
評価の観点	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3つの観点で総合的に評価します。学年末の成績は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業で学習した内容を積極的に日常生活に取り入れるように心掛けましょう。 2 保健や健康についての新聞やニュースに気を配り、日頃から健康について関心をもつようにしましょう。
-----------	--

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語I	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	Viva! English Communication I			出版社名	第一学習社	
	副教材	コーパス3000 (東京書籍)					

学習の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 2 物語や説明文などを読んで、情報や書き手の考えなどを的確に理解する力を伸ばします。 3 簡単な英語で話したり、書いたりして、英語を用いて伝える力を伸ばします。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 Lesson 1 Reach Out to the World!	○現在形と過去形、疑問詞を使った疑問文を学びます。	中間 期末 考查
	5月 Lesson 2 What Is Your Favorite?	○進行形を学びます。	
	6月 Lesson 3 Life in Space	○助動詞を学びます。	
	Lesson 4 Kikigaki Koshien	○to 不定詞 の形を学びます。	
	7月 1学期の復習		
2学期	8月 Lesson 5 The Cradle of Life	○動名詞を学びます。	中間 期末 考查
	9月 Lesson 6 Shima Uta	○受動態を学びます。	
	10月 Lesson 7 A Cool Invention	○比較表現を学びます。	
	11月 Lesson 8 Tuna Culture	○現在完了形を学びます。	
	12月 2学期の復習		
3学期	1月 Lesson 9 Can Robots Change Our Future?	○関係代名詞を学びます。	学年末 考查
	2月 Lesson 10 The Navoi Theater - an Amazing Building -	○分詞を学びます。	
	3月 総復習		

評価の観点	関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	知識・理解 英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
	評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしましょう。			

教科	外国語	科目	英語表現 I	学年	2年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	2
教材	教科書	Revised BIG DIPPER English Expression I		出版社名	数研出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 2 事実や意見などを多様な観点から考察し、読み手や目的に応じて簡潔に書く力を育成します。 3 学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめて発表する力を育成します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月 Lesson 1 はじめに① Lesson 2 はじめに② Lesson 3 はじめに③	○英文の基本構造を学びます。 ○適切な動詞を用いた表現を学びます。 ○可算・不可算名詞の表現を学びます。	中間 考査	
	5月 Review Exercises 1 Lesson 4 My Friends Lesson 5 My Family	○Lesson1～3の復習をします。 ○肯定文・否定文を学びます。 ○現在形・現在進行形を学びます。		
	6月 Lesson 6 Pastime Lesson 7 My Town Review Exercises 2	○未来の表現を学びます。 ○現在完了・過去完了を学びます。 ○Lesson4～7の復習をします。		
	7月 Lesson 8 Our Teachers 1学期のまとめ	○助動詞(can, must)の表現を学びます。		
	8月 Lesson 8 Our Teachers Lesson 9 Visiting a Museum	○助動詞(must, can't)の表現を学びます。 ○助動詞(should)の表現を学びます。		中間 考査
	9月 Lesson10 Famous People Lesson11 Reading Review Exercises 3	○SVC, SV0, SV00, SVOCの表現を学びます。 ○受け身の表現を学びます。 ○Lesson8～11の復習をします。		
	10月 Lesson12 Studying Abroad Lesson13 Advice	○不定詞の名詞用法を学びます。 ○不定詞の副詞用法を学びます。		
11月 Lesson14 Hobbies Lesson15 My Vacation	○動名詞の名詞表現を学びます。 ○分詞の形容詞用法を学びます。			
12月 Review Exercises 4 2学期のまとめ	○Lesson12～15の復習をします。			
3 学期	1月 Lesson16 In a Zoo Lesson17 Our Team Lesson18 Neighbors	○比較級(as...as等)の表現を学びます。 ○比較級(the ~est等)の表現を学びます。 ○関係詞(who, which)を学びます。	学年 末考査	
	2月 Lesson19 Speeches Review Exercises 5 Lesson20 My Wish	○関係詞(what, where, when)を学びます。 ○Lesson16～19の復習をします。 ○仮定法の表現を学びます。		
	3月 Lesson21 A Birthday Gift Review Exercises 6 1年間のまとめ	○接続詞(that, if等)を学びます。 ○Lesson20, 21の復習をします。		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切に、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしましょう。
-----------	--

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新版 家庭総合 ともに生きる・持続可能な未来をつくる			出版社名	第一学習社	
	副教材	家庭科ノート(愛媛県高等学校家庭科教育研究会)、2020最新生活ハンドブック家庭資料&成分表(第一学習社)					

学習の目標	1 家族や生活の営みに関する知識や技術を総合的に習得します。 2 学習した知識や技術を生活に生かし、各自の生活課題を主体的に解決する態度を育成します。 3 家族や社会との共生を創造し、家庭生活の充実向上を図る能力を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 7章 装う 1節 人の一生と被服 3節 被服材料と管理 被服材料の種類と特徴	○被服の役割を知り、暮らしとの関わりを学びます。 ○被服材料の種類と性能を学びます。 ○被服製作に当たって必要な技術を習得します。 ○生活の中の課題を発見し、解決する学習をします。	期末考查
	5月 2節 被服の制作 被服製作実習 ハーフパンツ		
	6月		
	7月 10章 生活の充実・向上を目指して ホームプロジェクトの説明 ホームプロジェクトの発表		
2学期	8月 7章 装う 3節 被服材料と管理 被服の手入れと保管	○被服の特徴に応じた適切な洗濯・仕上げ・保管等ができるようにします。 ○衣生活の課題を知り、適切に管理できるようにします。 ○子どもとその周囲の関わりりの大切さを学びます。 ○保育体験を通して、子どもと適切に関わることができるようにします。	期末考查
	9月		
	10月 2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達		
	11月 2節 親の役割 保育体験実習		
12月 3節 子育て支援と福祉	○子どもを取り巻く環境と課題について学びます。		
3学期	1月 8章 住まう 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択	○住居の機能と住生活設計、住環境の整備について理解します。 ○健康で安全な住まいについて学びます。 ○地球環境や近隣に配慮し、充実した住生活が営めるようにします。 ○人生すごろくを通して、将来の生活をデザインします。	学年末考查
	2月 3節 これからの住生活		
	3月		
	9章 生活をデザインしよう		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて見直し、生活課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、ノート、課題、ハーフパンツ及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 実習が多くあるので、欠席をしないで意欲的に取り組みましょう。 2 板書を写すだけでなく話をよく聞き、理解に努め、自分の意見をもちましょう。 3 学んだこと、経験したことは日常生活でも実践してみましょう。			

教科	農業	科目	総合実習（野菜）	学年	2年（園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択）	単位数	3
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 農業の各分野に関する実験・実習等の体験的な学習を通して、総合的な技術を身に付けます。 2 野菜では、果菜類や葉菜類の栽培実習を中心に取り組み、基本的な知識や技術を身に付けます。 3 直売所での販売実習など様々な体験を通して流通の基礎について学習します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 1 野菜苗の栽培	○各種夏野菜苗の育苗、野菜苗販売実習後片付け・耕起を実習します。 ○栽培ほ場の準備について学習します。 ○定植や灌水、除草の仕方を学習します。 ○人工授粉の仕方を学習します。 ○芽かきの仕方を学習します。 ○整枝や誘引の仕方を学習します。 ○収穫の判断や収穫の仕方を学習します。 ○出荷調整や出荷の仕方を学習します。 ○栽培ほ場の準備について学習します。	期末考查
	5月 2 夏野菜の栽培		
	果菜類の栽培		
	トマト		
	スイカ		
6月 3 秋冬野菜の栽培			
7月	長ネギ		
2 学期	8月	○栽培ほ場の準備を行います。 ○定植や灌水、除草の仕方を学習します。 ○灌水や除草について学習します。 ○追肥や土寄せの仕方を学習します。 ○生育状況を観察・調査します。 ○収穫判断や収穫について学習します。 ○展示・清掃・調整など出荷調整や出荷について学習します。	期末考查
	9月 4 葉菜・根菜類の栽培		
	ブロッコリー		
	長ネギ		
	10月 キャベツ		
ダイコン			
11月	(菊花展準備)		
12月 5 野菜苗の育苗	○土作りについて学習します。 ○土壌消毒のねらいや方法を学習します。 ○育苗準備の仕方を学習します。	○施設や育苗環境について学習します。 ○播種の仕方を学習し、実践します。 ○育苗管理の仕方について学習します。 ○接ぎ木の仕方を学習し、実践します。 ○よい苗の姿について学習します。 ○GAPへの取組について学習します。	学年末考查
各種夏野菜苗の育苗			
1月			
2月			
3月			
6 生産物工程管理			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	野菜栽培に関心を持ち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	野菜栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	野菜栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	野菜に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 活動・観察記録票やノートは丁寧に正確に記録しましょう。 2 栽培を通して、各々の栽培技術を理解し、その技術を習得しましょう。 3 野菜栽培に関心を持ち、身近な課題を見つけて観察・調査に取り組みましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	総合実習(果樹)	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	3
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 農業の各分野に関する実験・実習等の体験的な学習を通して、農業に興味・関心を高めます。 2 実際の経営・企画や管理する力など総合的な技術を身に付けます。 3 果樹栽培を中心に組みますが、栽培から加工・デザインまでの幅広い学習を行います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1 苗木の管理 (1)主枝の剪定	○主枝の剪定方法の理解と技術を習得します。	期末考査
	5月	(2)わき芽処理	○カンキツのわき芽処理を理解し、技術を習得します。	
	6月	2 カンキツの管理 (1)土壌管理	○カンキツの土壌管理を理解し、技術を習得します。	
	7月	(2)摘果	○カンキツの栽培管理を理解し、技術を習得します。	
2 学期	8月	(3)収穫	○カンキツの収穫方法を理解し、技術を習得します。	期末考査
	9月			
	10月			
	11月	3 カンキツの加工 (1)ミカンジュース製造	○カンキツの加工方法を理解し、技術を習得します。	
12月				
3 学期	1月	4 カンキツの管理 (1)収穫	○カンキツの栽培管理を理解し、技術を習得します。	学年末考査
	2月	(2)剪定	○カンキツの剪定方法を理解し、技術を習得します。	
	3月			
		5 果樹生産とGAP	○果樹のGAP取得の重要性を理解します。	

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	果樹栽培に関心を持ち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	果樹栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 実験・実習等の体験的な学習を通して、総合的な技術を身に付けましょう。 2 果樹の栽培を中心に、栽培から加工・デザインまでの幅広い学習に取り組みましょう。 3 目標を達成するため、積極的にみんなと協力して取り組みましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	総合実習(草花)	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	3
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 農業の各分野に関する実験・実習等の体験的な学習を通して、農業への興味・関心を高めます。 2 実際の経営・企画や管理する力など総合的な技術を身に付けます。 3 草花栽培を中心に取り組み、栽培から販売までの幅広い知識や技術を習得します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 カーネーションの栽培 (出荷調整・販売)	○生育の様子や栽培管理の方法、販売までの過程を学習します。	中間 考査
	5月	2 木付け菊の栽培 (鉢上げ・摘芯・誘引)	○菊の栽培管理を理解し、技術を習得します。	
	6月	3 シクラメンの栽培 (鉢替え)	○シクラメンの栽培管理を理解し、技術を習得します。	
	7月	4 1年草の栽培 (播種)	○1年草の播種を行い、栽培管理について学習します。	
2 学期	8月	5 木付け菊の栽培 (摘芯・誘引・仕上げ)	○菊の栽培管理を理解し、技術を習得します。	中間 考査
	9月	6 シクラメンの栽培 (追肥・葉組み・出荷調整)	○シクラメンの栽培管理を理解し、技術を習得します。	
	10月	7 1年草の栽培 (鉢上げ・追肥・出荷調整)	○1年草の鉢上げを行い、栽培管理について学習します。	
	11月	8 ポインセチアの栽培 (追肥・出荷調整)	○ポインセチアの出荷調整を行い、草花の特性について学習します。	
	12月	9 菊花展の実施	○菊花展を実施し、生産物の販売を経験します。	
3 学期	1月	10 土づくり	○草花の栽培に必要な土作りについて理解し、技術を習得します。	学年 末考査
	2月	11 ランの栽培	○ランの温室管理や誘引を行い、栽培管理を理解して技術を習得します。	
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	草花栽培に関心を持ち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	草花栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	草花栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	草花に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、記録簿、実習及び授業に取り組む姿勢や技能などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 2年生では、栽培の基本(植物の名前や特徴、栽培方法等)について学びましょう。 2 実験・実習や農業クラブ活動等を取り入れた体験的な学習をしましょう。 3 農産物や農業に関する親しみをもちながら、知識や技術の習得を目指しましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	農業情報処理	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	農業情報処理			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 情報化社会における情報処理の意義や役割を理解します。 2 情報処理に関する知識と技術を習得します。 3 農業分野における情報を活用する能力と態度を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1章 生活と農業の情報化	○私たちの生活と情報の関わりについて理解します。	中間考査  期末考査
	5月	第2章 情報の基礎	○情報化社会のモラルとセキュリティについて理解します。	
		第3章 コンピュータによる情報の活用	○コンピュータの仕組みと利用について理解します。	
	6月		○情報化社会のモラルとセキュリティについて理解します。	
2 学期	7月	第1節 表計算ソフトの特徴と機能	○ソフトの特徴と機能を理解します。	中間考査  期末考査
		第2節 表計算ソフトの基本操作	○表作成や編集方法、書式設定方法を理解します。	
	8月			
	9月	第3節 関数の利用	○基本的な関数の使い方を理解し、合理的な表作成の方法を身に付けます。	
	10月	第4節 グラフの作成	○グラフの種類や特徴、表からグラフを作成する方法を理解します。	
	11月	第5節 表計算ソフトの活用	○いろいろな演習問題を行い、表作成の技能を向上させます。	
12月	第6節 表・グラフ作成の応用(検定の概要)			
3 学期	1月	資格へのチャレンジ	○検定試験問題を取り組み、技術を向上させます。	学年末考査
	2月	第3章 コンピュータによる情報の活用	○検定へのチャレンジをします。	
	3月	第7節 プレゼンテーション作成 実習 作品発表	○GAPについて学び、プレゼンテーションを作成します。 ○インターネットやデジタルカメラ、図形処理ソフトなどを活用し、実際にプレゼンテーションを作成し、発表します。	

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	農業と情報技術との関わりや自らの課題に対して関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	情報を自らの判断で適切な処理方法を選択し、基礎的な知識と技術を基に合理的に表現する力を身に付けている。	パソコンやアプリケーションソフトの操作能力をはじめ、情報の収集、分析などの基礎的な技術を身に付けている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に処理する知識を身に付け、農業情報などを効果的に活用する手法を理解している。

評価の方法	各学期の定期考査と平常点(提出物、技能・関心・意欲・態度等)を総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 農業における情報処理の役割を正しく理解しましょう。 2 パソコンやアプリケーションソフトの操作能力の向上のために繰り返し練習しましょう。 3 練習の成果を確認するため、各種実務検定の取得に取り組みましょう。
-----------	---



教科	農業	科目	野菜	学年	2年（園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	野菜		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得します。 2 野菜の特性や栽培に適した環境を理解します。 3 品質の向上と生産性を考える能力と態度を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画			
1 学期	4月 第4章 野菜栽培の実際 第1節 ウリ科野菜の栽培 1 野菜としての特徴	○小玉スイカの特徴について理解します。 ○栽培床、定植の仕方を理解します。 ○管理機の構造と利用方法を理解します。 ○整枝の管理作業や観察をします。 ○誘引、受粉、追肥について理解します。 ○玉つり、摘果の管理作業を理解します。 ○果実肥大の仕方を理解します。 ○病虫害防除を理解します。 ○収穫の判断や収穫方法を理解します。 ○栽培の評価やまとめ方を理解します。 ○試食等による栽培の成果を検証します。 ○GAPについて学習します。	期末考查			
	5月 育苗、畑の準備					
	6月 2 生育の特徴、定植・誘引 3 栽培管理と商品化、整枝					
	7月 4 人工授粉・整枝・施肥 5 玉つり・人工授粉 6 病虫害防除・摘果					
	8月 7 収穫期の判断、観察調査 8 収穫・観察・調査 9 GAP					
	2 学期			8月 第5章 野菜栽培の実際 第1節 アブラナ科野菜の栽培 1 野菜としての特徴	○キャベツの特徴と環境を理解します。 ○栽培の流れを学び栽培計画を立てます。 ○栽培床の調整や畝つくりを理解します。 ○管理機の利用について理解します。 ○定植の仕方について理解します。 ○結球の仕方について理解します。 ○病虫害の特徴とその対策を理解します。 ○動力防除機の利用について理解します。 ○生育障害の特徴と対策を理解します。 ○生育状況について、観察・調査します。 ○出荷調整の仕方について理解します。 ○育苗のねらいとやり方を理解します。 ○育苗の施設について理解します。	期末考查
				9月 畑の準備・播種・苗作り 2 生育の特徴、生育と環境		
				10月 3 栽培管理と商品化、作型と品種 4 結球の仕方・追肥		
				11月 5 病虫害防除 6 生育障害とその対策 7 収穫・観察・調査		
12月 8 収穫・調整 第3章 野菜の栽培と環境管理 第1節 果菜類の育苗 1 育苗のねらい 2 育苗の施設						
3 学期		1月 3 苗床（電熱温床）のしくみと特徴	○電熱温床のしくみと特徴を理解します。 ○土づくりや育苗の準備を理解します。 ○播種の仕方や発芽の様子を観察します。 ○自動播種機について理解します。 ○野菜の接ぎ木の方法を理解します。 ○接ぎ木後の管理について理解します。	学年末考查		
		2月 4 育苗の環境 5 播種と発芽期の管理				
		3月 6 野菜苗の接ぎ木				

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	野菜の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。座学では授業の準備を整え、時間内の内容を理解するように努め、実習の際には、準備・後片付けを自ら進んで取り組んでいる。	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。	野菜栽培の実習に真剣に取り組み、技能を身に付けている。	野菜栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 活動・観察記録票やノートは丁寧に正確に記録しましょう。 2 野菜栽培を通して、栽培技術を理解し栽培技術を習得しましょう。 3 野菜栽培に関心を持ち、身近な課題を見つけて観察・調査に取り組みましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	果樹	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸生産類型)	単位数	2
教材	教科書	果樹		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 果樹の栽培についての体験的、探究的な学習を通して、果樹に対する興味・関心を高めます。 2 果樹の特性や生理を知り、生産性の向上を図る能力や態度を養います。 3 果樹栽培と環境について学び、GAPや環境に対する意識や基本的知識を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1章 果樹の種類と果樹栽培の動向 第1節 果樹の種類と果実の利用 第2節 果樹栽培の動向	○栽培されている果樹の種類と分類を学びます。	期末考查
	5月 第2章 果樹の生育と栽培環境 第1節 果樹の生育と生理	○果樹の一生についてそのあらしを学びます。	
	6月 第3章 果樹の栽培管理 第6節 結実管理 第7節 結実調節	○実習を行い、摘花・摘果の目的と方法を学びます。	
	7月 第3章 果樹の栽培管理 第2節 果樹の栽培と環境	○果樹の生育と環境要因の関係を理解し、果実生産に関わる環境要因を学びます。	
2 学期	8月		期末考查
	9月 第3章 果樹栽培と環境 第3節 土壌管理 第4節 栄養と施肥	○果樹の土壌条件を知り、施肥の量・時期・方法について学びます。	
	10月 第4章 カンキツ類 第3節 収穫・選別・出荷・貯蔵と加工	○実習を行い、収穫・選別・貯蔵・加工について学びます。	
	11月 第3章 果樹栽培と環境 第5節 水分管理	○果樹のかん水の時期・量・方法について学びます。	
12月 第8節 結果習性と整枝・せん定	○果樹の結果習性を理解し、整枝やせん定の目的や方法を学びます。		
3 学期	1月 第3章 果樹栽培と環境 第9節 気象災害の防止	○かん水の時期・量・方法について学びます。	学年末考查
	2月 第3章 果樹栽培と環境 第10節 病害虫の防止 第11節 植物成長調整剤の利用	○果樹を加害する主な病害虫の種類やその方法を学びます。	
	3月 第12章 高校生による実践活動 第1節 GAPを導入した栽培	○果樹栽培管理におけるGAPの重要性を学びます。	

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	果樹栽培に関心を持ち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	果樹栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	果樹栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	果樹に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、果樹の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 果樹の種類と分類を学び、果実の利用と食品価値の重要性を理解しましょう。 2 果樹の根・枝・葉の成長と花芽分化の関係や開花と結実、果実の成長を理解しましょう。 3 果樹の土壌や栄養と施肥、水分管理を学び、結実や結果調節の方法を理解しましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	草花	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	草花		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 草花の体験的、継続的な栽培活動と、観察、実験、調査、記録などの学習活動を行います。 2 草花の生理・生態的な特性や栽培環境及びそれらと生育の相互関係を理解します。 3 生育や環境の調節など栽培に関する基本的、体系的な知識と技術の習得を目指します。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 第1章 草花生産と消費の動向 第1節 草花園芸の特徴 ② 草花の種類	○草花の分類について学習します。 ○カーネーションの栽培管理と出荷調整について学習します。 ○盆栽菊・杉木立菊・笠菊の栽培管理作業について学習します。	中間考查   期末考查
	5月 第4章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク		
	6月 ③ カーネーション		
	7月		
2学期	8月 第1章 草花生産と消費の動向 第1節 草花園芸の特徴 ③ 草花の生産形態	○草花の生産形態について学習します。 ○草花の生産と消費の動向について学習します。 ○盆栽菊・杉木立菊・笠菊の栽培管理作業について学習します。 ○菊花展での販売と、それに向けての販売準備を行います。	中間考查   期末考查
	9月 第2節 草花生産と消費の動向 ① 生産の動向 ② 消費の動向		
	10月 第4章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク		
	11月		
12月			
3学期	1月 第2章 生活と草花の利用 第1節 草花の多面的利用 第2節 園芸デザイン	○草花の多面的な利用方法や園芸療法について学習します。 ○園芸デザインの基本として配色や装飾について学習します。	学年末考查
	2月		
	3月		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	草花の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。座学では授業の準備を整え、時間内の内容が理解するように努め、実習の際には、準備・後片付けを自ら進んで取り組んでいる。	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。	草花栽培の実習を真剣に取り組み、定植・整枝・誘引・育苗などの技能を身に付けている。	草花栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢や実習での技能などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 菊の栽培の基本(草花の種類や栽培方法等)について学びましょう。 2 品質と生産性の向上などの草花を栽培する技術を身に付けましょう。 3 草花の多面的利用に関心を持ち、知識や技術の習得を目指しましょう。			

教科	農業	科目	植物バイオテクノロジー	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	植物バイオテクノロジー			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 バイオテクノロジーの意味やどのような技術があるのかを理解します。 2 育種の意義や遺伝子操作の原理を理解します。 3 植物組織培養の目的や、無菌操作の手順を実験・実習を通して学習します。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 バイオテクノロジーの意義と役割	○生物とバイオテックの関係を学習します。	期末考查
	5月	(1)バイオテクノロジーの意義	○バイオテックの歴史を学習します。	
		(2)人間社会とバイオテクノロジー	○農業とバイオテックの関係を学習します。	
	6月	第2章 バイオテクノロジーの基礎	○植物の特徴や植物の多様性を学びます。	
(1)植物とは何だろう		○単細胞生物と多細胞生物を理解します。		
7月	(2)植物のからだ	○様々な生物や植物について理解します。		
	(3)植物の細胞分裂と分化	○植物のからだのなりたちを学習します。		
2 学期	8月	(4)植物の生殖と遺伝	○植物細胞の構造と働きを理解します。	期末考查
			○体細胞分裂と減数分裂を学びます。	
	9月	第3章 植物組織培養の基礎	○分化全能性と組織培養を理解します。	
			○植物ホルモンの役割を学習します。	
	10月	(1)組織培養とは何だろう	○種子植物の生殖の仕方を学習します。	
			○遺伝の仕方や機能を理解します。	
	11月	(2)組織培養の方法	○育種の意義や遺伝子操作を理解します。	
○組織培養とその目的を理解します。				
12月	(3)組織培養の施設と機器・器具	○組織培養の利用について学習します。		
		○組織培養の手順を理解します。		
3 学期	1月	(5)実験計画と進め方	○培地の重要性と作製方法を学習します。	学年末考查
			○無菌操作について学習します。	
			○培養組織の生育と環境を理解します。	
2月	第4章 植物組織培養の実際	○順化の方法について学習します。		
		○培養苗の検定の方法を理解します。		
3月	(1)サギソウの無菌播種	○組織培養の施設を学習します。		
		○組織培養の機器・器具を習熟します。		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	バイオテクノロジーに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	バイオテクノロジーに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	バイオテクノロジーに関する基礎的な技術を身に付けている。培養方法に合わせてその技術を適切に活用している。	バイオテクノロジーに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、植物の性質や培養方法を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 様々なバイオテクノロジーの技術について学習し、理解しましょう。 2 実験・実習に使用する施設や機器・器具の名称や使用方法を理解しましょう。 3 サギソウの無菌播種の方法を習得し、サギソウを増殖する活動の大切さを理解しましょう。
-----------	---